

平成 30 年度 事業報告

介護老人福祉施設 フラワーホーム

【総合的な目標の総括】

利用者の医療ニーズへの対応が今まで以上に求められている。平成 30 年度介護報酬改定において、深夜・早朝の嘱託医の診察体制が特養の加算として新設された。当施設においては、嘱託医である徳永医院の積極的な関わりのおかげで、これまで通り、深夜・早朝も必要があれば往診をして頂いたことにより、利用者・家族の思いに沿った支援が提供できた。合わせて、新設された加算取得により、法人の収入増にもつながったと考える。

フラワーホームでの施設看取り率が 90.9%と大半の利用者が施設での看取りであった。嘱託医である徳永医院の協力をもらいながら、関係職種で連携を図り、利用者・家族の意向を尊重し、利用者が入院することなく最期まで地域で生活できる支援ができたと考える。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

清拭等の整容、居室の環境整備を行い、臭いのしない施設の維持に努めることができた。スライディングシートやスライディングボード等の福祉用具を活用し、抱えない介護の実践につなげることが出来た。

食では旬の食材を取り入れ、利用者との定期的なおやつ作りを実践した。また、利用者個々の嗜好を聞き取り、隠居長屋ろんちの食堂と一緒に調理をし、天ぷらや焼き肉を提供する取り組みを実施した。

職員教育については、県老協主催の研修会を始め、外部研修に定期的に参加し知識と技術の向上を図った。また、ケア会議や職員研修会の中でノーリフト(持ち上げない介護)、感染症対策、看取り介護などの勉強会を行い、質の向上を目指した。身体的拘束等の適正化のための職員研修の定期的な実施や新入職員に対しての研修も実施することができた。

人材確保に関しては既存特養の介護職の数を常勤換算で 20.3、ショートステイで 10.9 確保できた。介護職員の平成 30 年度の介護職離職者は常勤換算で 1.0 だった。

【収益的活動】

多床室の年間ベッド稼働率は 98.8%で当初目標に 0.7%届かなかった。ショートステイは年間ベッド稼働率 88.9%で当初目標を 3.9%上回った。

現状算定できている加算については、職員数の確保と専門職の配置により継続して算定することができ、収入に結び付けられた。また、夜勤時間帯に喀痰吸引業務ができる職員を配置し、より手厚い支援体制を整えることで収入に結び付けることができた。

【支出的活動】

臥床式特殊浴槽での入浴介助時に使用するストレッチャー、移乗用介護用品を購入し、ノーリフト(持ち上げない介護)の浸透につながった。

【地域貢献活動】

溝辺地区の小・中学校における、認知症サポーター養成研修を地域包括と協働して行うことができた。

県老協の介護てつだい隊事業に参加し、高齢者雇用につなげ、開かれた地域の拠点づくりの一役を担った。

平成 30 年度 事業報告

介護老人福祉施設 フラワーホームユニット

【総合的な目標の総括】

フラワーホームユニットは平成 30 年度介護報酬改正で基本報酬が大きく減額され、年間で 300 万円ほどの減収となることが予想されていた。結果として予想通りの減収はあったが、年間ベッド稼働率は 99.5% を維持できた。

利用者の暮らしを知り、情報を得るツールとして 24 時間シートを作成し、職員の提供するケアにバラつきが生じないようにした。

嘱託医である徳永医院の積極的な関わりのおかげで、これまで通り、深夜・早朝も必要があれば往診をして頂いたことにより、利用者・家族の思いに沿った支援が提供できた。合わせて、新設された加算取得により、法人の収入増にもつながったと考える。フラワーホームユニットでの施設看取り率が 50.0% であった。例年よりも低い水準となった要因として、退所された半数が長期入院や多床室への転居によるものである。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

利用者の移乗時にスライディングシートやスライディングボード等の福祉用具を活用し、利用者・介護者ともに身体に負担の少ないケアを提供することができた。また、ノーリフト(持ち上げない介護)の意識・考えがユニット職員全体に浸透することにつながった。

地産地消を意識し、地域住民が育てた野菜を調理し、利用者に提供することができた。定期的実施した利用者とのお菓子作り等や調理を通じて、利用者の自己有用感を持ってもらう機会にもつながった。利用者だけでなく、職員も共に楽しみ利用者との良好な関係性を築くことにもなった。

職員教育については、ケア会議や職員研修会の中でノーリフト(持ち上げない介護)、感染症対策、看取り介護などの勉強会を行い、質の向上を目指した。身体的拘束等の適正化のための職員研修の定期的な実施や新入職員に対しての研修も実施することができた。また、ユニット毎での月間目標を掲げ、達成できるよう職員同士尽力した。12 月に開催された「かごしま介護技能コンテスト 2018」において本選に臨み、優秀賞を受賞し、技能の向上につながった。

人材確保についてはユニットの介護職の数を常勤換算で 17 確保できた。また、平成 30 年度は介護職離職者 3.0 だった。

【収益的活動】

年間ベッド稼働率は 99.5% で当初目標を達成できた。現状算定できている加算については、職員数の確保と専門職の配置により継続して算定することができ、収入に結び付けられた。

【支出的活動】

臥床式特殊浴槽での入浴介助時に使用するストレッチャー、移乗用介護用品を購入し、ノーリフト(持ち上げない介護)の浸透につながった。

【地域貢献活動】

溝辺地区の小・中学校における、認知症サポーター養成研修を地域包括と協働して行うことができた。

県老協の介護てつだい隊事業に参加し、高齢者雇用につなげ、開かれた地域の拠点づくりの一役を担った。

平成30年度 月別介護度別利用実績一覧表

特別養護老人ホームフラワーホーム

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	0	0	102	444	914	1,460
5月	0	0	0	0	124	475	923	1,522
6月	0	0	0	0	120	480	900	1,500
7月	0	0	0	0	124	465	961	1,550
8月	0	0	0	0	124	490	929	1,543
9月	0	0	0	0	120	450	900	1,470
10月	0	0	0	0	124	409	983	1,516
11月	0	0	0	0	120	426	930	1,476
12月	0	0	0	0	124	461	954	1,539
1月	0	0	0	0	124	431	990	1,545
2月	0	0	0	0	112	385	896	1,393
3月	0	0	0	0	126	444	959	1,529
合計	0	0	0	0	1,444	5,360	11,239	18,043

実利用者数

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	0	0	4	17	31	52
5月	0	0	0	0	4	16	31	51
6月	0	0	0	0	4	16	30	50
7月	0	0	0	0	4	15	31	50
8月	0	0	0	0	4	17	30	51
9月	0	0	0	0	4	15	30	49
10月	0	0	0	0	4	14	32	50
11月	0	0	0	0	4	16	31	51
12月	0	0	0	0	4	15	32	51
1月	0	0	0	0	4	14	32	50
2月	0	0	0	0	4	14	32	50
3月	0	0	0	0	5	15	32	52
合計	0	0	0	0	49	184	374	607

平成30年度 月別介護度別利用実績一覧表

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4 月	0	0	0	0	130	435	330	895
5 月	0	0	0	0	124	481	310	915
6 月	0	0	0	0	150	416	330	896
7 月	0	0	0	0	155	465	310	930
8 月	0	0	0	0	154	465	310	929
9 月	0	0	0	0	98	450	330	878
10月	0	0	0	0	93	465	372	930
11月	0	0	0	0	90	450	354	894
12月	0	0	0	0	93	465	372	930
1 月	0	0	0	0	93	496	341	930
2 月	0	0	0	0	84	420	334	838
3 月	0	0	0	0	93	465	372	930
合計	0	0	0	0	1,357	5,473	4,065	10,895

実利用者数

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4 月	0	0	0	0	5	15	11	31
5 月	0	0	0	0	4	17	10	31
6 月	0	0	0	0	5	14	11	30
7 月	0	0	0	0	5	15	10	30
8 月	0	0	0	0	5	15	10	30
9 月	0	0	0	0	4	15	11	30
10月	0	0	0	0	3	15	12	30
11月	0	0	0	0	3	15	12	30
12月	0	0	0	0	3	15	12	30
1 月	0	0	0	0	3	16	11	30
2 月	0	0	0	0	3	15	13	31
3 月	0	0	0	0	3	15	12	30
合計	0	0	0	0	46	182	135	363

平成30年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホーム

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4	3～4 6 12～13	開園記念日		社会福祉法人会計研修会	
	18	非常時総合避難訓練		介護技術専門研修	霧島市消防局溝辺分遣所員
	21		高齢者福祉研究会		
	25		平成30年度介護報酬改定について		
	24	法要法話			藤谷先生
5	7～9 12 21	は～ぶの集い		介護技術専門研修	地域住民
	22	地震想定避難訓練		地区老協総会	
	23	法要法話			
	26	既存特養 家族交流会			加来先生
	25		財務と負担軽減について		
	31	チャレンジデー			
6	1 6～8 9 11	ユニット家族交流会	身体的拘束等適正化検討委員会	BCP机上訓練ファシリテーター研修会 介護技術専門研修	
	13～14 18～20 19	龍桜高校看護学科実習 法要法話		番頭塾	実習生12名 藤谷先生
	20～21 22	夜間火災想定避難訓練		県老協 理事長・施設長研修会	
	25 29		食中毒について	介護技術専門研修	
7	3 5 9	綾南幼稚園七夕交流 陵南小2年生 社会見学 南島原市北有馬地区民生委員視察			綾南幼稚園児 陵南小2年生52名 南島原市北有馬地区民生委員14名
	11～26 14	龍桜高校医療福祉科実習 龍桜高校 清掃ボランティア 竹子みどりの少年団交流会			実習生4名 竹子小学校児童・教員・保護者
	17 19	法要法話		介護手伝い隊説明会	加来先生
	19～20 20 25		高齢者福祉研究会 ノーリフト・持ち上げない介護方法について	九社連職員研究会大会(大分大会)	
	24～27 25	夜間火災想定避難訓練		認知症介護実践リーダー研修	
	25～26 30～8/2 30～8/3	仁心看護専門学校実習		番頭塾 認知症介護実践リーダー研修	実習生5名
8	2～3 10 9～10 10 20	ユニット夕涼み会 夜間集合避難訓練週間	BCP机上訓練	ファーストステップ研修 スキルアップ研修	
	22～23 24	既存特養・ユニット納涼会 法要法話	事例検討会	介護技術研修	
	28 28～29 25	既存特養納涼会 加治木看護専門学校実習	事例発表会	番頭塾	藤谷先生 実習生5名
	28～9/3				
9	4～5 10 11～12 12～14/22 15	龍桜高校医療福祉科実習 既存特養・ユニット敬老祝賀会 法要法話	身体的拘束等適正化検討委員会	ファーストステップ研修 人材育成研修会	実習生4名 加来先生
	20 21	夜間火災想定避難訓練			
	23～24 25 26 27～28		スキルアップ研修	全国の集いin大阪2018 県老協 タウンミーティング 県老協 監査リスク研修 認知症介護実践リーダー研修	

平成30年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホーム

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
10	3～5			ファーストステップ研修	
	10～11			デジタル視点のリスクマネジメント研修	
	18	老人福祉法実地指導（既存特養）	高齢者福祉研究会 人材育成研修		県職員2名
	19				
	24				
	25	老人福祉法実地指導（ユニット）			県職員2名 藤谷先生
	26	法要法話 火災想定避難訓練			
	23			地区老施協 事務員研修 介護技術研修会	
11	3	ぼぜ祭り			
	5～7			ユニットリーダー研修 ファーストステップ研修	
	6～7	(有) シンポート介護実習			実習生2名
	13～14	ユニット介護保険実地指導 法要法話		認知症ケア研修	加来先生
	15			介護技術研修会 全国老人福祉施設大会（北九州大会）	
	20～21				
	21	火災想定避難訓練		地区老施協 相談員研修	
	22		デジタル視点のリスクマネジメント研修		
	26			介護技術研修会 介護技術研修会	
	28	風船バレー大会			
	30				
12	1	裸踊り奉納		ファーストステップ研修	玉利自治会
	4～6		身体的拘束等適正化検討委員会		
	10			介護事業所の災害対策とリスクマネジメント研修	
	18～19				
	19	介護事業安全祈願祭			長谷川富司 藤谷先生
	20	法要法話			
	21	夜間火災想定避難訓練			
	22	クリスマス&子供会	感染症について	かごしま介護技能コンテスト2018	
	25	利用者クリスマス会（既存特養）			
	27	利用者クリスマス会（ユニット）			
	28	餅つき茶話会		介護技術研修会	
1	17～18		高齢者福祉研究会	ファーストステップ研修 介護技術研修会	
	18			排泄管理とスキンケア研修会	
	22～23				
	25		介護事業所の災害対策とリスクマネジメント研修		
2	6			地区老施協 栄養・調理員研修	
	25		老後のお金について		霧島警察署員
	26	不審者対応訓練			
3	11		身体的拘束等適正化検討委員会		
	12			地区老施協 介護職員研修会	
	16	龍根高校清掃ボランティア			龍根高校生徒8名 加来先生 溝辺分遣所5名
	19	法要法話			
	20	消防立入り検査			
	22	夜間火災想定避難訓練			
	25		看取りケア研修		
3	30	柳田合奏団演奏会			

平成 30 年度 統計資料及び添付資料

< 1 > 利用者の出身市町村別、年齢別の状況（平成 31 年 3 月 31 日現在の住所地） n = 80

出身地 \ 年齢	性別	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合計
溝辺町	男	0	0	0	1	3	5	1	0	10	56
	女	0	3	4	5	14	10	9	1	46	
国分市	男	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
	女	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
隼人町	男	0	0	0	0	0	2	1	0	3	12
	女	1	0	1	2	0	3	2	0	9	
横川町	男	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	女	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
牧園町	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
福山町	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
始良市	女	0	0	0	0	1	1	0	1	3	3
鹿児島市	女	0	0	0	0	1	1	0	0	2	2
伊佐市	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
計		1	3	6	9	19	26	14	2	80	
平均年齢		89.5歳		最高年齢		105歳5月		最少年齢		69歳11月	
男 性		88.2歳		男 性		99歳0月		男 性		78歳0月	
女 性		88.9歳		女 性		105歳5月		女 性		69歳11月	

< 2 >施設利用状況

事業所名		フラワーホーム			フラワーホームユニット			ショートステイ		
月	日数 (日)	日数× 50人	入居 延べ数	稼働率	日数× 30名	入居 延べ数	稼働率	日数 ×20 名	利用 延べ 数	稼働率
4月	30	1,500	1,460	97.3%	900	895	99.4%	600	548	91.3%
5月	31	1,550	1,522	98.1%	930	915	98.3%	620	509	82.0%
6月	30	1,500	1,500	100%	900	896	99.5%	600	558	93.0%
7月	31	1,550	1,550	100%	930	930	100%	620	586	94.5%
8月	31	1,550	1,544	99.6%	930	930	100%	620	546	88.0%
9月	30	1,500	1,470	94.8%	900	878	97.5%	600	568	94.6%
10月	31	1,550	1,516	97.8%	930	930	100%	620	558	90.0%
11月	30	1,500	1,476	98.4%	900	894	99.3%	600	518	86.3%
12月	31	1,550	1,539	99.2%	930	930	100%	620	562	90.6%
1月	31	1,550	1,545	99.6%	930	930	100%	620	522	84.1%
2月	28	1,400	1,393	99.5%	840	838	99.7%	560	519	92.6%
3月	31	1,550	1,529	98.6%	930	930	100%	620	500	80.6%
合計	365	18,250	18,045	98.8%	10,950	10,896	99.5%	7,300	6,494	88.9%

*小数第2位以下切り捨て

＜3＞介護度の状況

(平成 31 年 3 月 31 日現在) n=80

性別	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均介護度
男	0	0	1	5	9	15	4.53
女	0	0	7	25	33	65	4.40
計	0	0	8	30	42	80	4.42

＜4＞要介護認定更新の推移

	介護度維持	介護度進行	介護度改善	改善率
フラワーホーム	21 名	5 名	2 名	7.1%
フラワーホームユニット	11 名	4 名	5 名	25.0%
合 計	32 名	9 名	7 名	14.5%

*平成 30 年度、介護保険更新認定 80 名中 48 名の結果

＜5＞退所状況

	年齢	性別	退所日	退所理由
フラワーホーム	86 歳	女性	平成 30 年 4 月 10 日	死亡
	83 歳	男性	平成 30 年 4 月 15 日	死亡
	76 歳	男性	平成 30 年 5 月 13 日	死亡
	88 歳	女性	平成 30 年 8 月 3 日	死亡
	94 歳	男性	平成 30 年 10 月 22 日	死亡
	93 歳	女性	平成 30 年 11 月 9 日	死亡
	88 歳	男性	平成 30 年 12 月 13 日	死亡
	96 歳	女性	平成 31 年 3 月 16 日	死亡
	97 歳	女性	平成 31 年 3 月 21 日	死亡
	95 歳	女性	平成 31 年 3 月 31 日	死亡
ユニット	78 歳	女性	平成 31 年 3 月 31 日	長期入院
	79 歳	男性	平成 30 年 4 月 11 日	長期入院
	86 歳	女性	平成 30 年 5 月 21 日	多床室へ転居
	85 歳	男性	平成 30 年 9 月 30 日	長期入院
	94 歳	女性	平成 30 年 11 月 3 日	死亡
	92 歳	男性	平成 31 年 2 月 4 日	死亡
	88 歳	女性	平成 31 年 2 月 27 日	死亡
		退所者数	看取り介護数	施設看取り率
フラワーホーム		11 名	10 名	90.9%
フラワーホームユニット		6 名	3 名	50.0%
合 計		17 名	13 名	76.4%

< 6 > 事故の状況

(種別)

転倒	転落	服薬ミス	皮膚剥離	打撲	異食	その他
43	7	7	46	20	4	6

(発生場所)

食堂・ホール	居室	浴室	トイレ	廊下	屋外	その他
33	70	14	10	2	2	2

(発生時間帯)

深夜 0:00~4:00	早朝 4:00~8:00	午前 8:00~12:00	午後 12:00~16:00	夕方 16:00~20:00	夜間 20:00~0:00
6	21	42	29	23	12

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
95 歳 女性 (ユニット)	車椅子同士の接触	トイレ介助後、介護職が車椅子を介助し、トイレから出ようとした。出入口から出た際、廊下で車椅子をゆっくりとした速さで自操していた他入所者と接触した。その際に対象者が反動で前傾姿勢になり車椅子から落ちそうになった為、後方から移動介助をしていた介護職が上体を支えて車椅子からの転落には至らなかった。 医療機関受診し、右大腿骨転子部骨折の診断(骨折部は軽度転位を認めるものの安定型)と判断。全身状態を考慮すると手術治療は難しく、保存治療での対応となった。保険者に連絡。
93 歳 女性 (多床室)	不明 (骨折)	腰部、下肢の痛みが強く表出していた。整形外科受診。右大腿骨頸部外側骨折の診断。骨折に至った原因は不明。 嘱託医からもキーパーソンに対して、軽微な圧力や外力でも骨折し得ること等の病状説明があった。職員間でも本人の思いと身体状況、ADL等を勘案し、多角的な視点から移乗介助法や排泄介助法を検討した。保険者に連絡。
88 歳 男性 (多床室)	転落	朝食時、車椅子から右側に転落している所を介護職が発見。床に右側臥位の状態で倒れていた。意識鮮明。目視できる限り、外傷・出血等なし。 嘱託医の指示で医療機関に救急搬送。医療機関側の見解として、本人のADLや股関節の拘縮等から手術困難であることから保存的治療を勧めたとのことだった。家族にも同意頂けたとのことだった。医療機関での治療ではなく、施設での療養となった。保険者に連絡。
88 歳 男性 (ショートステイ)	転倒	トイレ誘導後、一度排泄が終わったか声かけするも「まだ」と言われた為、時間をおき様子を見に行くと、便座横に右側臥位の状態で倒れていた。 身体状況、痛み等を確認。背部痛の訴えあり。外傷なく、歩行状態(普段から歩行器使用)も特段異常なかった。 痛み持続していることで嘱託医の指示で整形外科受診。に骨折等の所見はなかった。コルセットと湿布貼付で様子見となる。保険者に連絡。

89歳 女性 (ショートステイ)	転倒	トイレ誘導し、便座に座るまで介助した。「ドアを閉めっくいやい」との本人の意向に沿い、ドアを開けてトイレの外で待機していた。普段からドアを閉める旨のことを職員に伝える方である。待機中、トイレの中から「痛い」との声が聞こえた。右側臥位の状態で床に倒れていた。 主治医より整形外科受診指示。右鎖骨骨折の診断。本人は「家がいい」との強い希望あり。整形外科医師より、「日常生活はできるので今まで通りの生活で良い」「入浴はしていいが、右腕を無理に上げないように」とのことだった。右上腕は三角巾使用となった。保険者に連絡。
90歳 女性 (多床室)	介助方法の 選択過誤	夜勤就業の介護職がオムツ交換の介助に入った際、対象者が職員に対し手を挙げたり、臀部を引っ掻こうとしたり等の著しい抵抗があった。排便もあり、オムツを解放した後だった為、オムツ交換介助を継続せざるを得ない状況で本人の右手を握りながらのオムツ交換介助となってしまった。介助中も声を荒げたり、握っている手を振り払おうとしたり等の拒否が著しかった。 握っている職員の手を振り払おうとしたはずみで右手関節を捻ってしまう状態になった。 右手首から親指にかけて内出血斑、腫れあり。嘱託医の指示で整形外科受診となった。受診の結果、右手首打撲の診断。骨への影響はなかった。湿布貼付指示で様子観察となった。保険者に報告。

<7>苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
入所者家族 (苦情)	(施設内意見箱に投函) 首回りがボロボロに破けた肌着を着せてあったのでびっくりしたのと、家族としてはちょっと悲しくなった。もし、着る物とかなかったら連絡がほしいです。	匿名での投函のため、ご家族に直接お詫びをすることはできず。 グループリーダーに本事案の内容を口頭、書面にて伝達し、各居室担当に利用者の衣類に不備がないか確認してもらった。同様の事案もあり得るのでグループリーダーを中心に各グループメンバーに衣類だけでなく、利用者の整容、環境整備等に気配りができるよう指導した。
入所者家族 (相談)	キーパーソンである長男(県外在住)から“母が急変したり、急に亡くなったりすることがあれば、家族はどのような対応をすれば良いか？”という趣旨の問い合わせが介護職員にあった。	相談員より長男に電話で連絡をして相談内容や意向等の確認をした。 母も今は元気に過ごしているが、高齢になり、急変したり、急に亡くなったりということがないとは限らない。そのような事態の陥った際に、慌ただしい思いをしたくないし、ある程度の想定をしておきたい。少し不安に思い、相談した次第とのことだった。 家族の思いや考えを傾聴し、連絡体制や死亡時の対応、葬儀等のことについて現段階で返答できる内容等の助言をした

< 8 > 職員数

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

施設長	事務員	生活相談員	介護職員	看護職員	介護支援専門員	機能訓練指導員	障害者支援員	栄養士	管理栄養士	歯科衛生士	調理員	企画室	総務
1	5	1	49 (13)	6 (1)	4	1	1	3		2 (2)	4 (4)	2	8 (8)

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 49 名中「介護福祉士」有資格者 44 名

* 看護職員 6 名中「看護師」3 名「准看護師」3 名

* 栄養士 3 名中「管理栄養士」2 名「栄養士」1 名

* 総務は洗濯、清掃、送迎業務に従事、総務員 8 名中 2 名は障害者雇用

< 9 > 入職者数

職 種 \ 年 代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	計
介護職員	0	0	2	0	1	0	3
(うち介護福祉士)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(2)
看護職員	0	0	0	1	0	0	1
調理員	0	0	1	0	0	0	1
計	0	0	3	1	1	0	5

< 1 0 > 退職者数

性別／年代	在職期間	職種
女性 40 代後半	8 年 11 ヶ月	介護職員 (非常勤)
女性 40 代後半	7 年 0 ヶ月	介護職員 (正社員)
男性 30 代前半	11 年 5 ヶ月	介護支援専門員 (正社員)
女性 40 代前半	1 年 6 ヶ月	看護職 (正社員)
女性 60 代前半	10 ヶ月	調理員 (非常勤)
女性 40 代前半	1 年 2 ヶ月	調理員 (非常勤)
女性 40 代後半	4 年 1 ヶ月	看護職 (正社員)
女性 20 代後半	6 年 7 ヶ月	介護職 (正社員)
男性 40 代前半	1 年 0 ヶ月	機能訓練指導員 (正社員)
女性 30 代後半	7 年 11 ヶ月	障害者支援員 (正社員)

* 介護職員の平成 30 年度離職率 6.0% (平成 30 年 4 月 1 日在職者 50 人を分母)

平成 30 年度 事業報告

フラワーホームデイサービスセンター

【総合的な目標】

今年度は今までのデイサービスの一日の流れをどうやったら良い方向に変えていけるかを模索し、実行を始めた一年であった。まずは入浴サービスの時間帯を変更する事ができた。午前のみで終わらず、一日を通して急がさずゆっくりと入浴・脱衣をしてもらう事を利用者や職員も実感する事ができた。また、入浴中以外の部分で活動・レクリエーションや機能訓練のメニューを、もっと出来る事はないかを模索する事ができた。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

利用者ケアとして、一日の流れを変更した事で利用者が出来る事の自立を促す場面が増えてきた。終礼時では、送迎・入浴・レク・機能訓練とテーマを決め、スタッフそれぞれの視点から気付いた事や改善点などを話し合いケアに結び付ける事が多くなってきた。レクメニューにおいては、一日3パターンを取り組む事を開始し、各スタッフのアイデアから、楽しめる・やりがいのあるレクも行う事ができた。今後は「何のために行うのか」「行うことでどのような効果が生活に結びつくのか」をスタッフ・利用者が実感できるメニューを実践する必要がある。今まで以上にアセスメントをしっかりと聴取し、利用者の可能性に目を向けていきたい。

環境改善を行うハード面においては、3月末の時点でフロアのテーブルの配置や畳部屋の配置の変更を行った。畳部屋においては、ここ数年、どのように変更するか何度も議論してきたが、変更後はテレビに依存する利用者も減り、利用者同士の交流が図れてきている。スタッフ皆でいろんな事を考え、実践し、利用者の良い変化を気付けている。

認知症の利用者も増えてきた。より利用者同士が手を取り合ってサービスを楽しめるような環境を作るには、利用者にも認知症の理解が必要であり、利用者間のコミュニケーションの橋渡しを場面に応じて対応していく。

【収益的活動】

昨年の実績を超え、今年度の予算も達成する事ができた。40名登録のうち登録稼働率が85%から90%へ増加することもできたが、100%を達成できるように、フラワーデイの良い所を様々な方に伝える努力が必要である。加算においては口腔機能向上加算、栄養改善加算の実施。よりケアマネージャーや関係職種との情報交換を行い、加算算定者を増やすよう検討している。

【支出的活動】

ウォシュレット（2台）を導入し、利用者の気持ちが良いとの声があった。

身障トイレや個室も検討中である。

リハビリ機器においては設置場所を決めることができなかった。フロアや昼部屋の環境を変える事を行ったばかりなので、利用者の反応や動きをみながら、設置場所から可能な限りの機器を選定し効果的な機能訓練を提供する予定。

【地域貢献活動】

利用者と雑巾を作成し、陵南小学校に寄贈することができた。合計90枚を白梅利用者と寄贈しに行き、全校児童の握手を頂くことができた。

平成30年度 月別介護度別利用実績一覧表

フラワーホームデイサービスセンター

延べ利用者数

単位 : 人

	総合事業	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	77	23	45	207	189	104	46		691
5 月	32	4	33	234	265	120	68		756
6 月	31	4	33	198	273	110	48		697
7 月	31	4	32	175	269	122	40		673
8 月	29	4	42	168	259	144	50		696
9 月	32	4	44	179	240	141	60		700
10月	32	4	54	221	256	144	51		762
11月	34	4	55	194	267	133	59		746
12月	26	3	41	217	264	134	70		755
1 月	28	1	41	167	215	116	53		621
2 月	28	2	43	154	266	131	27		651
3 月	30	5	41	195	302	151	30	22	776
合計	410	62	504	2309	3065	1550	602	22	8524

実利用者数

単位 : 人

	総合事業	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	13	6	7	26	21	12	6		91
5 月	4	1	5	28	27	13	6		84
6 月	4	1	5	26	29	13	6		84
7 月	4	1	5	25	29	14	5		83
8 月	4	1	7	22	29	16	5		84
9 月	4	1	8	24	29	17	6		89
10月	4	1	10	26	27	15	8		91
11月	5	1	11	24	29	17	8		95
12月	4	1	9	25	30	18	8		95
1 月	4	1	9	26	28	18	9		95
2 月	4	1	9	22	32	16	4		88
3 月	4	2	9	24	34	17	5	1	96
合計	58	18	94	298	344	186	76	1	1075

平成30年度 行事及び研修実績表

フラワーホームデイサービスセンター

月	行事	日	内部研修	日	外部研修	日	来園者
4	花見週間 ゲートボール 苗物買い カレンダー書き・体力測定	10 10 25	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会	20	高齢者福祉研究会		
5	社会見学 お菓子作り カレンダー書き・体力測定	11 11 16 25	リーダー会議 ケアサービス会議 事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会	11 15	みゆき苑見学（一ノ宮） みゆき苑見学（山下）		
6	バラ園見学 衛生週間 身体を動かそう テーブルレクリエーション カレンダー書き・体力測定	11 11 14 25	リーダー会議 ケアサービス会議 事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会				龍桜高校看護科3年 龍桜高校看護科2年
7	七夕作り そうめん流し（アルプス） ボランティア・自由工作 カレンダー書き・体力測定	10 10 12 20 25	リーダー会議 ケアサービス会議 事業所情報連絡会 高齢者福祉研究会 在宅部門職員研修会	7 7 18	集団指導（一ノ宮） マネジメント研修（一ノ宮） 旭ヶ丘園視察（山下）	5 26	龍桜高校1年 陵南小2年生 見学 モードビジネス化3年生
8	夏祭り 買い物週間 盆団子作り 身体を動かそう カレンダー書き・体力測定	9 10 14 27	リーダー会議 ケアサービス会議 事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会	24 29	マネジメント研修（一ノ宮） 集団指導（一ノ宮）		学童ボランティア
9	ぶどう狩り 敬老会 文化祭に向かって カレンダー書き・体力測定	10 10 13 25	リーダー会議 ケアサービス会議 事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会	22	「このゆびとまれ」（山下）		加治木看護実習生 陵南中職場体験
10	十五夜 運動会 文化祭に向かって カレンダー書き・体力測定	9 9 11 25	リーダー会議 ケアサービス会議 事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会	19	高齢者福祉研究会		
11	文化祭に向かって 選抜レクリエーション 文化祭 カレンダー書き・体力測定	8 9 12 26	事業所情報連絡会 ケアサービス会議 リーダー会議 在宅部門職員研修会	22	相談員研修（一ノ宮）	18	デイサービス家族会
12	忘年会 買い物 カレンダー書き・体力測定 ゆく年くる年	10 10 13 25	リーダー会議 ケアサービス会議 事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会	22	かごしま介護技術コンテスト（楠元）		
1	初笑い・正月遊び 神宮参拝 新春グランドゴルフ大会 カレンダー書き・体力測定	10 10 24 29	ケアサービス会議 リーダー会議 事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会	18	高齢者福祉研究会		
2	節分・豆まき 茶話会 テーブルレクリエーション カレンダー書き・体力測定	12 12 14 25	リーダー会議 ケアサービス会議 事業所情報連絡会 在宅職員研修会	4 5	通所部会セミナー（片平・下萩原） 介護予防従事者研修会（一ノ宮）		
3	ひな祭り 春のお楽しみ週間 ボランティア カレンダー書き・体力測定	11 11 14 25	ケアサービス会議 リーダー会議 事業所情報連絡会 在宅職員研修会	12	介護職員研修（片平）		

< 1 >登録利用者状況

	介護	総合事業（支援含）	計
4 月	65	26	91
5 月	74	10	84
6 月	74	10	84
7 月	73	10	83
8 月	72	12	84
9 月	76	13	89
10 月	76	15	91
11 月	78	17	95
12 月	80	14	94
1 月	80	14	94
2 月	74	14	88
3 月	81	15	96

< 2 >曜日別・月別平均利用者数（定員 40 名）

	月	火	水	木	金	土
4 月	28	28	28	24	31	28
5 月	28	30	28	27	31	25
6 月	26	25	29	24	29	29
7 月	26	25	29	24	29	24
8 月	27	25	28	23	28	26
9 月	29	28	30	27	30	26
10 月	29	25	31	26	30	28
11 月	32	27	32	25	29	29
12 月	30	28	32	27	27	30
1 月	25	23	22	22	24	24
2 月	29	26	28	27	26	27
3 月	31	29	30	29	27	33
平均	28	27	29	25	28	27

少数点第一を四捨五入

＜３＞介護度の状況

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

性別	総合	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	計
男	3	5	11	6	2	0	27
女	12	19	23	11	3	1	69
計	15	24	34	17	5	1	96

＜４＞利用者年代別状況

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

60 代	70 代	80 代	90 代
1	15	49	30

＜５＞介護度別平均年齢状況

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

性別	総合	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	平均
全	84.6	86.4	84	83.5	81	87	84.4
男	88	87.4	88.1	90	72	0	85.1
女	83.8	86.2	86.8	87.7	87	87	86.4
最高齢 100 歳 若年齢 69 歳							

＜６＞要介護認定更新の推移

介護度維持	介護度進行	介護度改善	改善率
38 名	18 名	13 名	18%

*平成 30 年度、介護保険更新認定 69 名の結果

＜７＞ヒヤリハットの状況

(種別)

注意不足	送迎ミス	送迎車	異物混入	利用者の行為
1	0	1	1	0

(発生場所)

ホール	和室	浴室	脱衣場	トイレ	洗面所	車内	玄関	屋外	その他
1	0	1	0	0	0	1	0	0	0

(発生時間帯)

朝迎え時 8：30～9：30	午前中 9：30～12：00	午後 12：00～15：45	夕送り時 15：45～16：45
1	2	0	0

< 8 > 事故の状況

(種別)

転倒・転落	外傷	皮膚剥離	打撲	その他
7	0	1	0	1
送迎ミス	紛失			
1	1			

(発生場所)

食堂ホール	浴室	脱衣場	トイレ	車内
0	0	5	0	1
玄関	自宅	静養ベッド	屋外	和室
0	3	1	0	1

(発生時間帯)

朝迎え時 8：30～9：30	午前中 9：30～12：00	午後 12：00～15：45	夕送り時 15：45～16：45
1	4	6	0

< 9 > 車両事故

物損（謝罪）	物損（補償）	自車のみ	対向車
3	1	1	0

< 10 > 苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
新村憲一（本人）	財布紛失（脱衣所のかごの中）	家族連絡、デイ内探すがなし
水流添恵子（娘）	財布紛失（上着ポケットの中）	デイ内・自宅も探すがなし
鬼塚久榮（本人）	お金紛失（バッグのポーチの中）	デイ内・自宅も探すがなし
上木原美香（孫）	お金紛失（バッグ中の封筒ごと）	デイ内・自宅も探すがなし
徳永人美（娘）	お金紛失（財布に中）	バッグ横ポケットから発見
職員（担会時）	処置セット（訪問看護使用）	他利用者宅から発見

< 1 1 > 職員数

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

管理者	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員
1	1	8 (2)	2 (1)	1

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 8 名中「介護福祉士」有資格者 8 名

* 看護職員 2 名中「看護師」2 名

* 機能訓練指導員は理学療法士 1 名

平成 30 年度 事業報告

フラワーホームホームヘルプサービス

【総合的な目標】

訪問介護事業においては、平成 30 年度改定で家事を中心とした生活援助が報酬ダウン、直接的な支援の身体介護は報酬アップされた。また、生活援助を中心とした訪問介護が必要以上に提供されていることが全国的に問題となっていることで、適正化が図られることとなった。必要以上のサービス提供を控えることは大事であるが、個々の状況によっては 1 日に複数訪問が必要な方々がいる。担当ケアマネとしっかりと連携をとりながら、利用者の在宅生活が支援できるよう努めていきたい。なお、周辺地域においてもヘルパー不足が進んでいる。生活援助のみ提供するヘルパーはカリキュラムが簡素化されたので、法人の目指す元気シニアの人材バンク登録者から研修を受けてもらい、ヘルパーの担い手確保に努めたい。

利用者の回数制限などがあり、担当ケアマネと連携をとりながら利用者の負担増にならないようにしました。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

①在宅において、自立した生活が営めるように援助する

入浴、排せつ、食事の場面において、過剰介護とならないようにする
生活援助の場面でも、できることはしてもらい、見守る支援を提供する

本人ができること、一緒にできることなど自立した生活ができるように援助しました。

②社会的孤立感の解消

高齢者の中には、外に出たがらない方がおり、ヘルパーの訪問が孤立感の解消につながっているため、コミュニケーションを大切にしたい支援をする

心身に変化がないか、会話をしながら状態観察しました。

③家族のレスパイトケア

身体介護、生活援助を通して家族の介護負担の軽減を図る
在宅介護の良き相談相手として、家族との関係作りを行う

困った事等ないか聴きながら話し傾聴しました。

④統一した質の高いケアの提供

ヘルパーは 1 対 1 での支援となるので、ミーティング等でしっかりと情報共有をする
意見交換により、お互いを高め合い継続した勉強会をしていく

ミーティングで情報共有を徹底し、統一した対応に努めました。

⑤職員確保策

定年後等の元気シニアを中心に生活援助のみ提供する担い手を確保する

現在、14名のヘルパーが在籍しています。年齢40～69歳までで、そのうち5名が10年未満で、9名が10年以上です。

【収益的活動】

①現利用者の継続利用と新規利用者の獲得

コミュニケーションの中で状態変化にいち早く気づき、医療と福祉が連携することで在宅生活の維持に繋げる

居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの連携を図り、新規利用者獲得をする

②保険外事業の提供

総合事業・非該当者について、保険外の自主事業を提供し、在宅生活を支える

入院、施設入所、死亡の多い年でした。また、介護度の軽い方が多く、訪問回数も制限があり、新規の利用者もあまり増えませんでした。

【支出的活動】

①経費節約の徹底

あらゆる身近なものから『もったいない』を基に節約に努める

身近なもので節約しました。

【地域貢献活動】

①地域の高齢者のゴミ出しサポート等

利用者宅の隣に住む高齢者等が困っていたら、軽微な困りごとのお手伝いする

挨拶をし、出来る範囲の事はしました。

平成30年度 月別介護度別利用実績一覧表

フラワーホームホームヘルプサービス

延べ利用者数

単位 : 人

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	12	45	74	158	281	101	46	0	717
5月	10	43	70	160	323	106	39	0	751
6月	12	46	56	128	319	101	39	3	704
7月	12	43	57	114	289	132	46	4	697
8月	8	50	57	167	266	144	44	3	739
9月	7	58	54	160	285	135	43	1	743
10月	8	52	55	163	366	131	28	2	805
11月	8	39	50	174	335	124	50	2	782
12月	8	40	53	191	322	89	80	4	787
1月	8	51	53	194	314	87	54	0	761
2月	8	52	48	182	319	105	0	10	724
3月	8	47	47	193	372	132	9	9	817
合計	109	566	674	1,984	3,791	1,387	478	38	9,027

実利用者数

単位 : 人

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	2	7	9	13	18	7	3	0	59
5月	2	7	8	12	21	7	2	0	59
6月	2	7	7	11	22	8	2	1	60
7月	2	7	8	11	20	9	2	1	60
8月	1	8	9	14	19	10	2	1	64
9月	1	9	8	14	22	9	2	1	66
10月	1	8	8	13	22	10	3	1	66
11月	1	7	8	15	20	10	3	1	65
12月	1	8	8	15	20	8	3	1	64
1月	1	9	8	15	20	9	2	0	64
2月	1	9	8	14	21	8	0	1	62
3月	1	8	8	14	24	8	1	1	65
合計	16	94	97	161	249	103	25	9	754

平成 30 年度 行事および研修実績表

フラワーホームホームヘルプサービス

月	日	研修項目	研修内容	外部研修	参加者
4	10	ヘルパーミーティング			
	24	法令遵守について			
5	8	ヘルパーミーティング	認知症の種類、 症状、対応	県ホームヘルパー協議会 総会及び第 1 回研修会 (5/22)	樋口、飯田
	22	認知症ケアについて			
6	12	ヘルパーミーティング	減塩食の調理法		
	26	調理のしかた			
7	10	ヘルパーミーティング	熱中症の応急処置		
	24	熱中症、脱水予防			
8	7	ヘルパーミーティング	食中毒予防のポイント		
	21	食中毒について			
9	18	ヘルパーミーティング	事故防止・事故対応の 重要性		
	25	事故予防			
10	16	ヘルパーミーティング	プライバシーの 保護	在宅ケアを支える診療所市民 全国ネットワーク全国の集い in 大阪 (9/23～24)	樋口
	30	プライバシーについて			
11	13	ヘルパーミーティング	予防策、手洗い	労働条件に関するセミナー (11/27)	樋口
	20	感染症、及びまん延防止			
12	11	ヘルパーミーティング	予防法、消毒・処理の しかた		
	25	ノロウィルス・インフルエンザ			
1	15	ヘルパーミーティング	手順・その時の対応に ついて		
	29	緊急時対応について			
2	12	ヘルパーミーティング	虐待の種類・対応		
	26	虐待、身体拘束について			
3	12	ヘルパーミーティング	記録を書くときの ポイント		
	26	サービス提供記録について			

平成 30 年度 事業報告書

居宅介護支援事業所

【総合的な評価】

30 年度改正では医療と介護の連携強化が重要となり、ターミナルケアマネジメント加算が創設された事に伴い届出を行った。入院時は早期に連携シートを作成し医療関係者との情報共有を行い、退院前は関わる事業所や関係者と共に、院内カンファレンスに参加し連携を密に行い、状態に応じた切れ目の無い支援に努めた。また終末期の医療中心の方や施設入所の方を在宅に戻し、医師の指示を頂きながら医療や福祉関係機関と連携を図り、家族の側で自宅での看取り支援を行う事ができた。

特定事業所加算の算定事業所として介護支援専門員の実務研修の受け入れや、町内の他法人居宅と共に事例をもとに、アセスメント、課題整理総括票の整理などスキルアップを図った。また霧島市地域ケア会議に参加し提出事例に対しての様々な職種の視点からの助言をもらい、関わる事業所や居宅内での意見交換を行い、自立支援に向けたプラン作成を見直すなどの振り返りの機会も作った。

支援が必要であっても、利用拒否のあるセルフネグレクト等の困難事例に関しては、家族や包括等の各関係機関と連携を図りながら、継続的な訪問支援にて、本人との信頼関係を構築しサービス利用に繋げる事ができた。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

毎週 1 回居宅内でのミーティングにて、担当利用者の情報把握と共に事例検討を行い、内部、外部での研修を重ねケアマネジメント力や各制度等の知識の向上に努めた。困難事例等に対しては、チームで対応できるように常に情報を共有し連携を図った。また内部移動等はあったが、主任介護支援専門員の 2 名体制は維持が行えている。

【収益活動】

減算がないように確実な業務と書類整理を行いながら、それぞれの職員が目標金額を目指し新規獲得に向けて地域包括支援センターや地域の病院、各関係機関と連携を行った。信頼関係を作りながら利用に繋げる事が出来た方も居たが、目標金額に届く月はひと月のみであった。

【支出的活動】

必要性を検討し経費削減に努めた。

【地域貢献活動】

法人主催の「ハーブの集い」や霧島市包括の主催する「このゆびとまれ」家族交流会に参加し、相談事業所としての周知を図り、また地域のひろば事業を行っている地域に出向き、身近な相談窓口となれるように顔なじみの関係作りを行った。

研修報告書

居宅介護支援事業所

	内部研修		外部研修
4月2日 9日 16日 24日 25日	・加算について ・認知症の支援について ・事例検討 ・法人の倫理規定 ・事例検討		
5月1日 8日 16日 23日 25日 31日	・配食申請について ・届け出の必要な生活支援 ・集中減算について ・事例検討 ・苦情、相談について ・軽度者のケア	5月12日	・ケアマネジメントの深化を考える
6月4日 11日 20日 25日	・事例検討 ・後見人が付いても働ける ・事例検討 ・リスクマネジメントについて	6月13日	・番頭塾
7月2日 9日 17日 23日 25日	・相続と介護貢献について ・認知症の高齢者の運転 ・経過記録について ・認知症の理解と対応	7月7日 24日 25日 ～26日	・緊急時のケアマネの対応 ・居宅支援事業所集団指導 ・番頭塾
8月3日 8日 16日 21日 27日	・集団指導内容について ・事例検討会 ・医療との連携 ・連携のマナー ・個人情報保護について ・事例検討	8月28日 ～29日 31日	・番頭塾・ケアマネⅡ研修 ・霧島市主催研修
9月3日 11日 18日 25日	・相談、面接について ・担当者会議について ・虐待防止等の権利擁護 ・事例検討	9月12日 25日 ～27日	・包括主催他法人居宅合同研修事例 検討会 ・ケアマネⅡ研修

10月 4日 9日 15日 24日 25日 31日	・記録について ・病気と介護予防 ・記録の書き方 ・相談援助技術について ・事例検討 ・認知症支援の視点	10月 27日 29日	・県ケアマネ協会主催研修 ・実習指導者研修
11月 5日 13日 15日 20日 26日	・実習生受け入れについて ・面接技法 ・他法人居宅との合同研修 ・感染症予防について ・認知症の理解	11月 10日 30日	・包括主催ケアマネ研修 ・認知症研修
11月 5日 13日 15日 20日 26日	・実習生受け入れについて ・面接技法 ・他法人居宅との合同研修 ・感染症予防について ・認知症の理解	11月 10日 30日	・包括主催ケアマネ研修 ・認知症研修
12月 3日 10日 17日 25日	・区分変更について ・地域ケア会議について ・褥瘡予防について ・入退院加算について		
1月 10日 14日 22日 29日	・事例検討 ・事例検討 ・職員のメンタルヘルスについて ・事例検討	1月 12日 15日 ～18日	・ケアマネ協会主催実習生受け入れ研修 ・主任ケアマネ資格取得研修
2月 4日 13日 18日 25日 28日	・ターミナル期の支援 ・事例検討 ・後期集中減算について ・救急救命について ・他法人居宅と合同研修	2月 5日 12日 16日 19日 ～22日 23日	・介護予防従事者研修 ・認知症予防 ・ALS研修 ・主任ケアマネ資格取得研修 ・スーパービジョンについて
3月 4日 11日 18日 25日	・訪問介護の利用回数について ・支援給付金について ・スーパービジョンについて ・地域の社会資源につて	3月 1日 15日	・主任ケアマネ資格取得研修

居宅介護度別月人数

単位：人

	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計
4 月	3	4	36	32	20	9	3	107
5 月	2	5	36	34	19	9	1	106
6 月	2	5	33	36	19	9	1	105
7 月	1	7	32	37	19	9	1	106
8 月	1	10	30	35	20	10	1	107
9 月	4	11	33	37	20	9	1	115
10 月	5	16	35	37	18	11	1	123
11 月	5	19	36	39	20	13	2	134
12 月	6	20	40	41	21	13	2	143
1 月	5	20	40	38	20	14	2	139
2 月	5	20	34	43	17	11	2	132
3 月	5	19	34	43	18	11	2	132
合 計	44	156	419	452	231	128	19	1449

居宅月別利用者推移

単位：人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
介護人数	100	99	98	98	96	100	102	110	117	114	107	108	1249
介護新規	4	1	1	4	5	4	8	4	9	1	2	6	49
予防人数	7	7	7	8	11	15	21	24	26	25	25	24	200
予防新規	1	1	0	1	2	2	3	1	2	0	0	1	14
入 院	5	2	8	6	4	4	3	9	6	10	3	5	65
施設入所	2	2	1	1	3	0	1	0	1	1	0	3	15
死 亡	2	3	0	2	0	0	0	0	2	5	4	2	20

平成 30 年度 事業報告

地域包括支援センター

【総合的な目標の総括】

平成 30 年度は相談実績が 207 件であった。困難事例として 11 件のケア会議を実施し行政機関等と連携を行いながら対応を行っている。また 40 件の介護保険申請を行い、必要な支援に繋げている。精神疾患を患う対象者もあり、警察や振興局との連携を図り緊急搬送や医療保護入院への支援を行うこともあった。

平成 25 年度から霧島市全体で実施している家族介護者交流会を平成 30 年度からは旧市町村単位でも実施するようになり溝辺圏域では 9 月 22 日に実施し、22 名の参加があり同じ悩みを抱えていることに気づいたり、話しを聞いてもらうことで気持ち的にも楽になったとの声も聴かれた。また家族介護者交流会を行う上で、溝辺圏域にあるサービス事業所やライフサポートワーカーの協力をもらい計画していく中で、ネットワークの構築も少しは出来たのではないかと思います。今年度も家族介護者交流会を 8 月に計画している為、サービス事業所やライフサポートワーカーと協力しながら計画を立てていきたい。

地域との関わりの中では、地域に女性の一人暮らしの方が多くなり、1 日誰とも会わずに暮らしている人も居る為、どこか集える場を作りたいとの相談を受け、生活支援コーディネーターと連携を図る中で地域のひろば事業が立ち上がった。開催日は参加し地域の方との関係作りや地域包括支援センターの広報活動を行いながら関係性の構築に取り組んでいる。その他に JA のサロンや久保山自治会などのサロンや地域のひろば事業に出向き、広報活動や視察を行い地域の方々との交流を行った。また民生委員定例会に定期的に参加し顔の見える関係作りや情報交換を行い日頃からの関係性作りを行っている。

資質向上に関しては、業務連会や外部への研修、介護支援専門員としての専門研修や主任介護支援専門員資格取得の為に研修に参加することで知識向上を図っている。

平成30年度 行事及び研修実績表

地域包括支援センター

月	日	行事	日	内部研修	日	外部研修
4	12	ワーキング		居宅ミーティング	18	霧島市ケアマネ会あしたば
	13	包括業務連絡会	10	リーダー会議		
	17	民生委員定例会	20	高齢者福祉研究会		
	18	特定事業所加算に係る話し合い	25	職員研修会		
	20	事例検討会打ち合わせ				
	25	よいやんせ運営推進会議				
5	11	包括業務連絡会		居宅ミーティング	9	霧島市ケアマネ会あしたば 地域包括・在介定期総会 見える化研修
	12	はーぶの集い	11	リーダー会議	14	
	15	民生委員定例会	16	事業所情報連絡会	28	
	18	権利擁護部会	25	職員研修会		
	24	マニュアル作成				
	28	事例検討会打ち合わせ				
	30	家族介護者交流会検討				
6	6	JAサロン見学		居宅ミーティング	7	事例検討研修
	11	包括業務連絡会	11	リーダー会議		
	12	民生委員定例会	14	事業所情報連絡会		
	12	溝辺小認サボ打ち合わせ	25	職員研修会		
	24	石峯地区地域のひろば見学				
	26	法人連絡会				
	28	よいやんせ運営推進会議				
7	2	このゆびとまれin溝辺打ち合わせ		居宅ミーティング		
	10	家族介護者交流会検討	10	リーダー会議		
	10	ワーキング	12	事業所情報連絡会		
	12	包括業務連絡会	20	高齢者福祉研究会		
	18	民生委員定例会	25	職員研修会		
	20	共生連携部会				
8	24	スマイルサロン見学				自立支援に向けたIT研修会 介護支援専門員専門研修Ⅱ 合同研修
	1	このゆびとまれin溝辺打ち合わせ		居宅ミーティング	24	
	9	マニュアル作成	9	事業所情報連絡会	28～29	
	6	包括業務連絡会	14	リーダー会議	31	
	10	民生委員定例会	27	職員研修会		
	17	家族介護者交流会最終打ち合わせ				
	24	あしたば運営委員会				
	25	家族介護者交流会（国分）				
9	30	よいやんせ運営推進会議				介護支援専門員専門研修Ⅱ
	3	みそめの里運営推進会議		居宅ミーティング	25～27	
	6	マニュアル作成	10	リーダー会議		
	11	民生委員定例会	13	事業所情報連絡会		
	14	包括業務連絡会	25	職員研修会		
	21	共生連携部会				
	22	このゆびとまれin溝辺				
10	12	包括業務連絡会		居宅ミーティング	19	地域包括・在介職員研修
	23	ひとり暮らしの集い	9	リーダー会議		
	31	よいやんせ運営推進会議	11	事業所情報連絡会		
	31		19	高齢者福祉研究会		
11			25	職員研修会		保険者機能強化支援事業意見交換会 霧島市ケアマネ会あしたば 九州ブロック包括・在介協議会セミナー
	12	包括業務連絡会		居宅ミーティング	1	
	13	民生委員定例会	8	事業所情報連絡会	14	
	14	あしたば会	12	リーダー会議	20～30	
12	26	ワーキング	26	職員研修会		
	7	このゆびとまれin福山	10	リーダー会議		
	10	マニュアル作成	13	事業所情報連絡会		
	11	民生委員定例会	25	職員研修会		
	11	地域のひろば				
	14	包括業務連絡会				

	14	ワーキング				
1	8	地域のひろば	10	リーダー会議	15~18	主任介護支援専門員資格取得研修
	11	マニュアル作成	18	高齢者福祉研究会		
	11	包括業務連絡会	24	事業所情報連絡会		
	11	ワーキング	29	職員研修会		
	11	家族介護者交流会打ち合わせ				
	16	民生委員定例会				
2	10	健康福祉祭り	12	リーダー会議	5 12 19~22	介護予防従事者等専門研修会 包括主催CM研修会 主任介護支援専門員資格取得研修
	13	民生委員定例会	14	事業所情報連絡会		
	14	包括業務連絡会	25	職員研修会		
	15	みそめの里運営推進会議				
	26	地域の絆情報交換会				
3	11	包括業務連絡会	11	リーダー会議	7 12~15	入退院支援/医療・介護合同会議 主任介護支援専門員資格取得研修
	12	民生委員定例会	14	事業所情報連絡会		
	13	法人連絡会	25	職員研修会		
	19	地域のひろば				
	20	マニュアル作成				

平成30年度 事業報告

小規模多機能ホームふもとの家

【総合的な目標の総括】

利用者が住み慣れた自宅や地域で生活が出来るように、また職員も馴染みの関係性が構築できるよう支援してきたが、身体的理由、家族内事情等により、施設入所など登録解除となるケースがあった。また、ご家族との時間を少しでもとる為、年末年始など積極的にご家族と連絡を取り協力を得られるよう働きかけ、長期泊りの方や、ご家族との時間をとれていなかった方まで、自宅へ一時帰宅及びご家族と一晚過ごすという貴重な時間をつくることができた。しかしながら、全ての利用者に対して「～したい」の実現には至らなかった。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

平成30年度は、6名の職員の入れ替わりと、管理者及び介護支援専門員の変更もあったが、職員間で協力し合っていた。新人職員に対しては、先輩職員らが雰囲気づくり等を大切にし直ぐにとけ込めていた。利用者へ対しては接する時間を大切にしてきたが、介護の重度化も進み、介助に時間を費やすことが多くなった為に、利用者一人ひとりに対し十分なコミュニケーションが行えていなかったように思えた。しかし、限られた時間の中でも、職員間や家族とも連携を図ることで、全員ではないが、利用者が希望する「～したい」を叶える為に行動もとれていた。

【収益的活動】

平成30年度は、7名の利用者が契約解除となったが9名の新規利用者を受け入れることが出来た。登録定員29名に対し26～29名と定員に近い登録者を確保できたこともあり、プラス補正予算を組めることとなった。

【支出的活動】

電化製品等の劣化や物品破損による支出が目立っていた為、物を大切に扱うよう周知してきた。

【地域貢献活動】

平成28年度からAコープの移動販売車が毎週来てくれるようになったが、まだ地域の方の利用が少ない状況である。また、毎月「お茶ったもんせ」を開催しているが、毎回多数の地域の方々に来て頂き交流を図れている。

平成30年度 月別介護度別利用実績一覧表

小規模多機能ホームふもとの家

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月		30	255	107	144	71	90	697
5月		31	290	111	163	56	93	744
6月		29	299	108	142	87	90	755
7月		31	303	123	116	145	93	811
8月		30	275	135	84	142	93	759
9月		29	276	105	108	144	90	752
10月		31	254	131	111	152	51	730
11月		30	221	176	132	151	30	740
12月		28	259	144	165	148	31	775
1月		28	255	144	130	124	62	743
2月		28	235	108	129	131	84	715
3月		22	261	89	168	184	93	817
合計	0	347	3183	1481	1592	1535	900	9038

実利用者数

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月		1	10	4	6	3	3	27
5月		1	10	4	6	2	3	26
6月		1	11	4	5	3	3	27
7月		1	11	5	4	5	3	29
8月		1	10	5	4	5	3	28
9月		1	10	5	4	5	3	28
10月		1	9	6	4	5	3	28
11月		1	8	7	5	6	1	28
12月		1	9	6	6	5	1	28
1月		1	9	5	5	5	2	27
2月		1	9	4	6	5	3	28
3月		1	9	3	6	6	3	28
合計	0	12	115	58	61	55	31	332

平成30年度 行事及び研修実績表

小規模多機能ホームふもとの家

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4	1	蒲生芝桜見学	4/25 小規模多機能型居宅介護について		ボランティア
	21	ドライブ(湯之尾の滝)			
	25	藤祭り			
	26	藤祭り・お茶ったもんせ			
	27	藤祭り			
	30	竹の子採り			
5	3	竹の子採り(表木山)	5/25 基本的な介護技術に関する研修	5/19 霧島市地域密着型サービス事業者連合会「総会・地域づくりは人づくり 講演」野崎	照明保育園児 ボランティア
	4	ドライブ(牧園)			
	10	ドライブ(横川)			
	21	照明保育園児とあく巻き作り			
	24	お茶ったもんせ			
6	3	ドライブ(国分海浜公園)	6/25 食事や嚥下に関する研修		ボランティア
	9	ドライブ(さえずりの森)			
	28	お茶ったもんせ			
7	2	柏餅作り	7/25 健康管理や薬の効能に関する研修	7/24 霧島市「集団指導」野崎	ボランティア
	9~13	そうめん流し(アルプス)			
	14	うどん作り			
	18	ひまわり見学			
	26	お茶ったもんせ			
8	4	スイカ割り	8/24 利用者の尊厳の実践的展開に関する研修		照明保育園児 ボランティア
	23	お茶ったもんせ			
	25	夕涼み会			
9	5	外出活動(温泉)	9/25 介護記録の書き方に関する研修		ボランティア
	22	敬老祝賀会、運動会			
	22	ドライブ(山田のかかし)			
	22	おはぎ作り			
	27	お茶ったもんせ			
10	13	コスモス見学	10/24 認知症及び認知症ケアに関する	10/10~10/11 県老協「フィジカルアセスメント視点のリスクマネジメント」福田 10/18~10/19 県社協「小規模多機能型サービス等計画作成者研修」長田	ボランティア
	14	から芋掘り			
	16	味噌作り			
	19	コスモス・赤そば見学			
	20・21	ドライブ(大出水)			
	25	お茶ったもんせ・敬老会			
	28	秋祭り見学			
	30	温泉			
11	3	ほぜ祭り見学	11/26 非常災害時の対応に関する研修		ボランティア
	6	むかご採り			
	13	こんにゃく作り			
	14	味噌作り			
	22	お茶ったもんせ			
	23	から芋掘り			
	26・27	遠足(水族館)			
	29・30	遠足(水族館)			
12	6	ドライブ(霧島神宮)	12/25 感染症及び食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	12/18~12/19 県老協「介護事業所の災害対策とリスクマネジメント」長田 12/6~12/7 「甲種防火管理新規講習」森	照明保育園児 ボランティア
	8	そば落とし			
	1・14・1	門松作り			
	14	金柑収穫			
	15	高菜漬物作り			
	20	お茶ったもんせ・クリスマス会			
	28	餅つき			

	30	そば打ち			
1	1 6 18	元旦 おとそ 書初め サワーポメロ収穫	1/25 プライバシー保護の取り組みに関する研修		
2	1 3 18 28	高菜収穫 節分豆まき 高菜漬物作り お茶ったもんせ	2/25 事故発生等緊急時の対応に関する研修	2/7～2/8 「認知症対応型サービス事業管理者研修」森	ボランティア
3	5 7 14 14・16 19 20 28	参拝(和気神社) 参拝(和気神社) 鯉のぼり作り 高菜漬物作り そばだご作り おはぎ作り お茶ったもんせ	3/25 身体的拘束等への排除のための取り組みに関する研修	3/12 地区老協「介護職員研修会」下萩	ボランティア

平成 30 年度統計資料及び添付資料

＜1＞利用者の出身市町村別、年齢別の状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在の住所地)

年齢 出身地	性別	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合計
溝辺町	男	0	1	3	1	1	2	0	0	8	23
	女	1	0	2	4	3	5	0	0	15	
隼人町	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	女	0	0	0	0	2	2	0	0	4	
横川町	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
牧園町	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		1	1	5	5	6	9	1	0	28	
平均年齢		85.0 歳		最高年齢		97 歳 7 月		最少年齢		66 歳 0 月	
男 性		82.3 歳		男 性		91 歳 6 月		男 性		70 歳 1 月	
女 性		86.0 歳		女 性		97 歳 7 月		女 性		66 歳 0 月	

＜２＞施設利用状況

事業所名		ふもとの家	
月	登録定員	登録者数	稼働率
４月	29	27	93%
５月	29	26	89%
６月	29	27	93%
７月	29	29	100%
８月	29	28	96%
９月	29	28	96%
10月	29	28	96%
11月	29	28	96%
12月	29	28	96%
１月	29	27	93%
２月	29	28	96%
３月	29	28	96%
合計	348	332	95%

*小数第２位以下切り捨て

＜3＞介護度の状況

(平成31年3月31日現在)

性別	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均介護 度
男	0	0	3	1	1	2	1	8	2.63
女	0	1	6	2	5	4	2	20	2.55
計	0	1	9	3	6	6	3	28	2.57

＜4＞契約解除状況

	年齢	性別	退所日	退所理由
ふもとの家	87歳	男性	平成30年4月7日	死亡
	88歳	女性	平成30年4月16日	入所
	94歳	男性	平成30年7月18日	入院後死亡
	92歳	男性	平成30年10月1日	入所
	94歳	女性	平成30年10月13日	入所
	98歳	女性	平成30年10月19日	入所
	86歳	女性	平成30年12月11日	入院
		退所者数		看取り件数
ふもとの家		7		1

＜5＞新規利用者状況

	介護度	年齢	性別	登録日
ふもとの家	介護1	85歳	女性	平成30年4月23日
	介護1	92歳	男性	平成30年6月11日
	介護4	83歳	男性	平成30年7月8日
	介護3	83歳	女性	平成30年7月12日
	介護2	86歳	女性	平成30年10月31日
	介護4	89歳	女性	平成30年11月9日
	介護2	90歳	女性	平成30年12月21日
	介護3	91歳	女性	平成31年2月4日
	介護3	86歳	男性	平成29年11月29日

<6>事故の状況

(種別)

転倒	転落	服薬ミス	皮膚剥離	打撲	誤飲	離園	物損
12	4	2	1	1	2	2	2

(発生場所)

食堂・ホール	居室	浴室	トイレ	廊下	屋外	その他
11	8	1	2	0	2	2

(発生時間帯)

深夜帯 0:00~4:00	早朝帯 4:00~8:00	午前中 8:00~12:00	午後 12:00~16:00	夕方 16:00~20:00	夜間 20:00~0:00
2	1	4	7	9	3

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
79歳 男性	離園	夕食後、何度か入床促すも入床されず、ホールにて過ごしていた。再度入床促そうと姿を捜すも見当たらず施設内及び施設外を捜索し35分後門を出て50m程の道路上にいるところを発見する。身体に異常もなく落ち着いておられた。保険者へ報告する。
79歳 男性	誤飲	他利用者に用意していた座薬をテーブルに置いていたが無くなっていた為探すと、別の利用者の足元に噛み砕いた形跡のある座薬がシートに入った状態で落ちていた。座薬はシートに入ったままであり飲み込んではいなかったが、状態観察及び保険者へ報告する。

<7>職員数

(平成31年3月31日現在)

管理者	計画作成担当者	看護職員	介護職員
1	1	1	10 (5)

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 10 名中「介護福祉士」有資格者 6 名

* 看護職員 1 名中「准看護師」1 名